

一人暮らしの食卓を豊かにするためのコミュニケーションシステム「MINGO」の提案

MINGO Proposal of Communications system to enrich environment to eat of living alone

情報アーキテクチャ学科 美馬のゆり研究室 渡辺 昭仁

概要

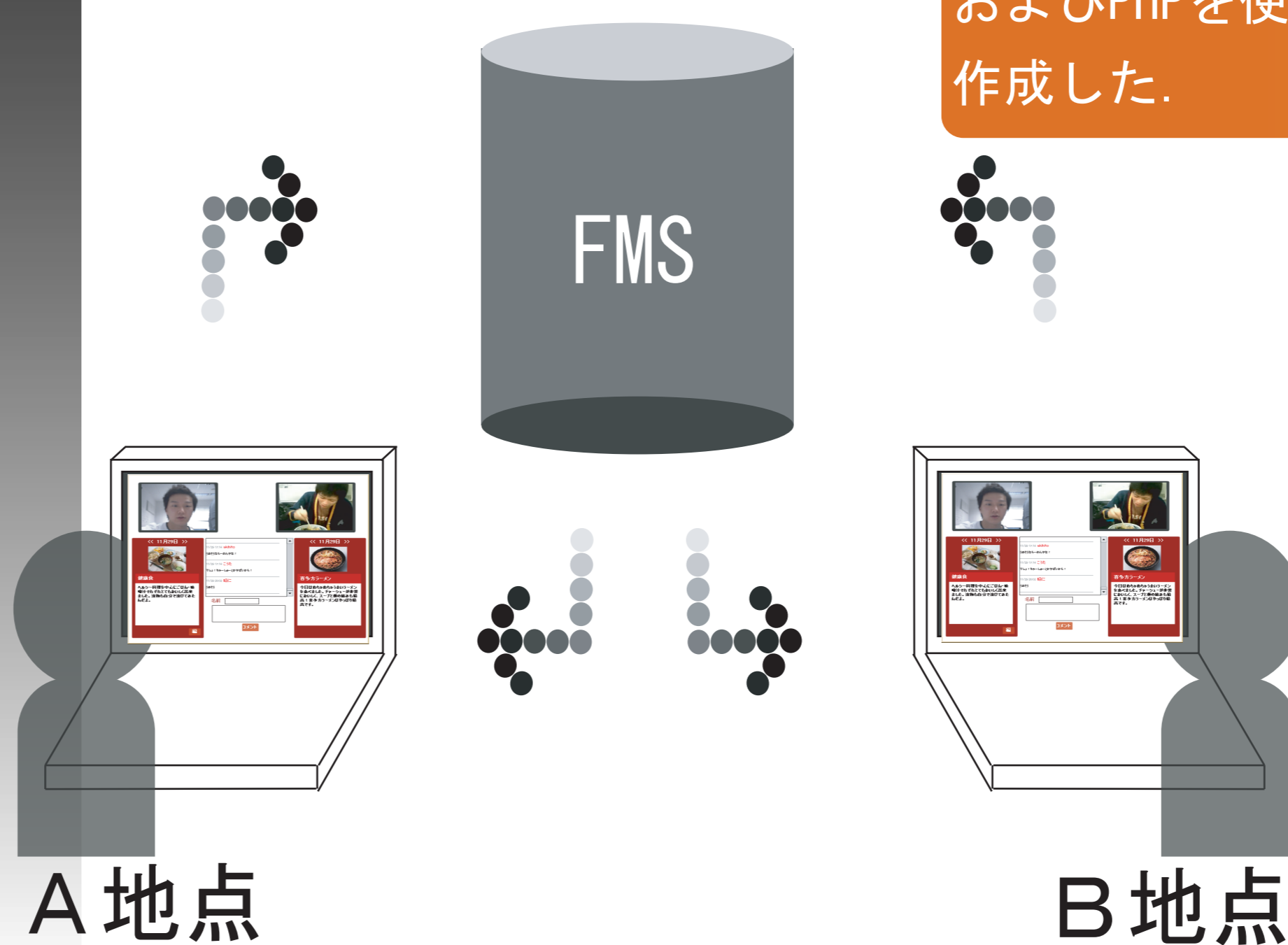
食卓とは栄養のある食事をとることに特化した場ではない。家族や友人と食事をするように他者とコミュニケーションをとることができる場所なのである。一人暮らしの食卓に着目したとき、そのような理想の食卓とはかけ離れており、どうしても孤立した中で食事をとる機会が増えている。本研究では一人暮らしの食卓の中で他者とコミュニケーションがとれる環境作りをし、コミュニケーションを活性化させるシステム「MINGO」の提案を行う。

提案

MINGOとは

MINGOは遠隔地同士を結んで、リアルタイムに食卓を他者と囲むためのシステムである。本研究ではコミュニケーションの活性化を目的としており、その内容は相互行為から発生する会話に着目し、話題や発話量から、コミュニケーション活性化に対する評価を行っていく。

かつて、食卓は家族と楽しく集まって食べる場所だった…。一人暮らしの孤立した食卓に友人や家族と共に食卓を囲める環境を提供したい



①ライブチャット機能

リアルタイムに相手と通信するための手段として、本システムではライブチャットを採用

②ごはん日記

会話の活性化における話題を与えるために、ひとつのコンテンツを用意した。ごはん日記は互いの共通の話題として今食べているものを記録し、相手にその情報を伝えるためのもので、さらにその情報によって、会話の質を高めてもらう。

③コメント機能

リアルタイムに相手と通信するための手段として、本システムではライブチャットを採用

